



# 那覇市立教育研究所

所報第8-①号

平成22年12月28日  
那覇市金城3-5-3  
所長 池間生子

## 子どもが授業で汗をかく

所長 池間生子

「子ども達は、今この授業をどのような思いで過ごし、何を考えているのだろうか」と。先生に問われるままに素早く答え、やつてみようと言われば、素直に取り組み、グループでと言わればグループをつくる。そして、先生の指示と説明が続く中、もしかしたら、子ども達は、早く終わりのチャイムが鳴らないかなと思つているのではないかと思つてしまう。

授業のスタート時は、受け身の立場にあつた子ども達だったとしても、それを主体的に取り組ませる学びに変えるためには教師のさまざまな工夫が必要になつてくる。

「どうして?」「なるほど!」「もしかしたら!」「やつてみようかな」といった主体的な取り組みのある授業は、一人一人のそれぞれの経験や知識が基になり、考えたり、資料や参考書を活用したり、友達と意見や考えを交換したりと充実した学習につながっていく。

そのためには、これまでに行つてきた教材研究はもちらんのこと、知的好奇心を刺激する資料や言葉かけも大事である。それと同時に、教師の手段取りで、教師の思いで準備したことと授業に生かすために、学ばせたい相手となる子ども達の発達段階、子どもの思いやこだわりが土台となることを忘れてはならない。

子ども達が、今日の授業の目標達成のために、どんな活動を通して学んでいくか、子どもたちの立場に立ち、子ども達が授業で汗をかく授業である。

「表情が気になることがあつた。授業を参観させて頂きながら、児童生徒の中学校の授業を参観させて頂く機会に恵まれた。授業を参観させて頂きながら、児童生徒の言われば、素直に取り組み、グループでと言わればグループをつくる。そして、先生の指示と説明が続く中、もしかしたら、子ども達は、早く終わりのチャイムが鳴らないかなと思つているのではないかと思つてしまう。

授業のスタート時は、受け身の立場にあつた子ども達だったとしても、それを主体的に取り組ませる学びに変えるためには教師のさまざまなもの工夫が必要になつてくる。

「どうして?」「なるほど!」「もしかしたら!」「やつてみようかな」といった主体的な取り組みのある授業は、一人一人のそれぞれの経験や知識が基になり、考えたり、資料や参考書を活用したり、友達と意見や考えを交換したりと充実した学習につながっていく。

そのためには、これまでに行つてきた教材研究はもちらんのこと、知的好奇心を刺激する資料や言葉かけも大事である。それと同時に、教師の手段取りで、教師の思いで準備したことと授業に生かすために、学ばせたい相手となる子ども達の発達段階、子どもの思いやこだわりが土台となることを忘れてはならない。

子ども達が、今日の授業の目標達成のために、どんな活動を通して学んでいくか、子どもたちの立場に立ち、子ども達が授業で汗をかく授業である。

## 研究員講座

### 講座①「子どもたち一人ひとりの育ちを見つめて」

期日 平成22年11月24日(水)  
場所 真和志庁舎(校長連協講演会参加)  
講師 松田盛雄 那覇少年鑑別所主席専門官

①初めに 非行を抑止する要因は  
②非行理解の糸口-非行少年の心の世界、在り様  
③「フル」への憧れ。卒業するとき・非行の背景要因を考える  
④「少年院における処遇困難少年の処遇」  
⑤「非行」からの出発・成長へ

「悩むべきことを悩むべき時期に真剣に悩むことが大切です。」「非行の原因是複合的であり因果論のように簡単に片づけられない。」というお話をありました。

### 講座②「記憶と学習」

期日 平成22年11月28日(日)  
場所 那覇市立教育研究所  
講師 田中真介 京都大学准教授

記憶の定義や種類について詳しいお話を聞いていただきました。また、記憶障害のメカニズムやそのサポートの重要性についても具体的な事例を通して研修を深めることができました。脳の仕組みを踏まえ、発達段階に応じて子どもたちの姿を捉えることに対する理解を深めました。

### インストラクターによる授業支援



12月6日(月)1~4校時(6年生4クラス)  
古賀小学校で、プレゼンテーションスキルを高めることを目的に、はっぴょう名人を使ってインストラクターによる授業支援を行いました。

## 教科コーディネータ事業・研究会



期日 平成22年11月19日(金)  
場所 那覇市立大道小学校  
授業者 大道小教諭 當山こずえ  
真和志中教諭 外間郁生(教科コーディネーター)  
日程 公開授業 14:00~14:45  
授業研究会 15:00~16:45  
単元名 5年1組 「分数」(商分数  $2 \div 3 = \frac{2}{3}$ )  
参加者 80名(那覇地区小中学校教諭)



当日は、授業改善の内容が中心になり、コーディネーター事業についてはあまり触れることができませんでしたので、簡単に成果を整理してみます。

①教材研究会を密にすることで専門的な視点から指導の手立てを準備できる。  
②予想外の子どもの反応にも、数学的な視点から整理してもらえる。  
③学習が楽しくなる算数の歴史や見方・考え方の情報を話してもらえる。等  
他にも日常の情報交換等で授業改善のヒントをもらえるそうです。大道小学校の野原研究主任を中心に充実した取組が進められています。

## 那覇地区小中学校養護教諭研修会

期日 平成22年11月29日(月) 時間 14:00~16:30  
場所 那覇市立教育研究所 1F多目的ホール  
講師 田中真介 京都大学准教授  
演題 「思春期の発達と健康教育~14歳、心の中に秘密の小箱~」

発達段階を理解するための、子どもの様子の見取り方を詳しくお話ししていただきました。子どもの小さな成長に気づき、適切な援助をすることについての理解を深めました。



資料  
「思春期の発達と健康教育」  
「障害をもつ子どもの発達と保育・療育」  
「14歳、心の中に秘密の小箱」



# 那霸市立教育研究所

所報第8-②号

平成22年12月28日

那霸市金城3-5-3

所長 池間生子

文部科学省指定・学力向上実践研究推進校 研究会(最終年次)

## 那霸市立城北小学校

期日 平成22年12月16日(木)  
 テーマ 「すべての子どもに自ら学ぶ意欲を育てる指導法の工夫・改善」  
 ～算数科における既習内容を活用した授業の工夫を通して～  
 日程 公開授業 全学年 14:00～14:45  
 授業研究会 15:00～15:35  
 全体報告会 15:50～16:45  
 重点課題 キーワード  
 第一年次 「学習を支える力(基本的学習態度)」  
 第二年次 「活用する力の育成」  
 第三年次 「既習内容を生かす」「意識させる授業」  
 県内各地からたくさんの参加者が集まり、多くの成果を体育館いっぱいの先生方と共有しました。

## 那霸市立城北中学校

期日 平成22年12月21日(火)  
 テーマ 「思いや考えを適切に表現する力を高める授業の工夫」  
 ～書くことを通して～  
 日程 公開授業 全学年 14:00～14:50  
 全体報告会 15:05～15:40  
 講演会 15:40～16:40  
 講師題 大城貞俊(琉球大学教育学部准教授)  
 「全教科で考える言語活動」  
 ～書くことの指導を巡って～  
 書くことを全教科で取り組んできた成果が、生徒の学校生活の様子から見えてきたという報告がありました。

## 沖縄県学力到達度調査

到達度調査へのご協力ありがとうございました。現在、課題や成果を分析しているところです。指導改善に向けての資料については、

平成23年1月13日(木) 校長連絡協議会  
 平成23年2月10日(木) 教頭連絡協議会  
 で配布する予定となっております。  
 各学校におかれましては、自校の成果や課題と照らし合わせながら、研修を深めて頂けたらと考えております。

## 平成23年度 教育研究員募集

様式1・2・3の提出締切が

平成23年2月4日(金)までとなっています。

## 職場見学 松川小児童来所

松川小学校から2名のかわいい女の子が職場見学のために来所しました。

6年3組



江藤朝香さん

石原里莉さん

## 国語科課題改善授業実践講座Ⅱ

期日 平成22年12月10日(金)  
 場所 那霸市立小禄中学校(授業及び授業研究会)  
 講師 相澤秀夫 宮城教育大学教職大学院教授  
 曜日 14:30～15:20  
 授業解説 15:25～16:45  
 参賀者 那霸地区中学校国語科担当教員・近隣小学校教員



## 研究員検証授業

新垣真寿美 12月20日(月) 鏡原中学校

テーマ 「発信力」を高める指導の工夫」～「書くこと」を通して～  
 題材名 「In Your Words「自分史」を作ろう」  
 目標 「『Kyohara Writing』を活用して「自分のこと」(自分史)を書くことができる。  
 ①英文を書きやすくするための手立てとして『Kyohara Writing』でモデルを示す。  
 ②ペアで添削することで、読み手を意識して書くことができるようになる。  
 添削のポイントを示すことで、焦点を絞って添削をできるようになる。



下地恵美理 12月21日(火) 大道幼稚園

テーマ 「規範意識の芽生えを培うための教師の援助の工夫」  
 ～友だちとのかかわりを通して～

友だちとかかわりながら、ルールのある遊びを楽しむ。  
 集団でのゲームを通して、幼児自身がルールの必要性を感じるような援助をすることによって、ルールを共有しながら楽しく遊びを進めていくことができるであろう。



比嘉君代 12月24日(金) 城東小学校

テーマ 「互いを認め合う、望ましい人間関係を育てる道徳授業の工夫」  
 ～道徳的価値を伝え合う活動をとおして～

主題名 「大切なわたしの友だち 2-(3)友情」  
 資料名「モモンとヘーテ」  
 友だちの優しさに触れることで、友だちと心が通い合う喜びを知る。  
 モモンの気持ちの変化を考えさせることで、「友だち」の存在について考え、友だち・友情の大切さに気づくであろう。



ご協力頂いた各学校の校長先生はじめ、職員の皆様本当にありがとうございました。研究所に戻り、充実した検証研究会を行いました。